漆喰用下地処理材（左官用）
取扱説明書

■ 施工中または施工後の乾燥期間中に、気温が３℃以下になる恐れがある場合は施工ができません。
■ 浴室等常に水のかかる場所や、屋外には使用できません。

■使用方法

① 「下地処理材」（10kg）に対して、2.5～3 kgの比率で水を加えよく練ります。
☆ 「下地処理材」は石膏系の材料です。「下地処理材」を水で練った物は、可使用時間（１時間程度）を超えると硬化しますので、１時間で塗り終わる量だけ混合してください。

② よく練った「下地処理材」を、コテで0.5～1mm 程度に塗ります。一面全体に塗り終えたらすぐに、塗面の表面を平滑に軽くならします。
☆ 原料１袋（10kg）分で、約10 平方メートルの塗り付けが可能です。
☆ 布クロスや紙クロスなどのように、吸水が極端に大きい下地に塗る場合は、先にシーラーを塗布し、ビニルクロスと同等の吸水状態にしてください。
☆ 下地の凹凸が１mm 以上の場合は、下地処理材を１mm 以下の厚さで塗り１度乾燥させてから、さらに１mm 以下の厚さで増し塗りするなどして不陸を調整（下地処理）してください。下地の凹凸の大きさに比例して、下地処理材の必要量は増えますのでご注意ください。

③ すべて塗り終えたら、完全に乾燥させます。施工後は完全乾燥まで十分な換気を行ってください。完全乾燥までは通常１日程度ですが、乾燥の良くない状況では数日掛かる場合があります。